

新健康協会では、新しい健康法を伝える「健康新聞」を毎月発行し、人間のもつ治癒力や適応力をお伝えしています。肉体的、精神的なコトでお悩みの方も是非一読されてみてください。

# 健康新聞

発行所 新健康協会  
発行人

〒813-0001  
福岡市東区唐原6丁目7番1号  
TEL:092-661-1531  
HP:https://shinkenko.jp



## 浄霊体験記

- 失明と言われた緑内障 進行せず元気に
- 手術と言われたヘルニア 浄霊で奇跡の体験
- 手首に刺さったガラス傷 浄霊できれいに
- 湿疹・鼻炎良くなり 大事故からも救われる

## 地球は呼吸する

次の御論文は明主様が、昭和二十四年に発表されたものであります。世界平和と心身共に健全な人間作りを目指す活動に御理解を頂ければ幸甚です。

あらゆる生物は呼吸しているという事は誰も知っているが、実は植物も鉱物もその他万有はことごとく呼吸している。そうして地球も呼吸しているといったら、ちょっと意外に思うかも知れないが、左に説くところによってなるほどと肯くであろう。

そもそも地球は一年に一回呼吸する。息を吐き始める時が春で、漸次吐きつつ極点に達した時が夏である。地球の吐く息も人間と同じように温かい。それは地熱の放散によるからで、春になればそれが濃く万有は生育しはじめ、まず草木が萌え始める。あらゆる物は上方に向かつて伸び、人間も浮き浮きする。夏になるに従い草木はいよいよ繁茂し極点に達した時、今度は地球が息を引き始めるから草木は凋落し、万物はすべて下降状態となり人間も冷静になる。それがまた極点に達したときが冬であって、これが大自然の姿である

が、地球が吐く息は地の霊気で科学でいう窒素であるから、草木が成長するのである。この窒素なるものは、不断に上昇しつつ空気の内容する高さまで上昇集積され、雨によって再び地中へ還元する。これが天然の窒素肥料である。この意味において、空中から特に窒素をとり、それを肥料にすることは誤っている。なるほど一時は窒素肥料によって作物の収穫が増えるが、長く持続するときは、土壌は窒素中毒を起し瘦土と化す。その理由は、窒素過剰結果として土壌自体の活動力が鈍化するのがある。人も知るごとく窒素肥料は第一次欧州戦争のとき、ドイツにおいて発明せられたものであるが、戦時に際し一時的収穫を増そうとする場合その目的に適うからよいが、戦争が済み平時となればやめるべきである。

## 体験記

浄霊による個人の感想

明主様は、浄霊によって魂が清まると運命が向上し、幸せになることを、事実を以て示されております。次に紹介しております数々の喜びと感謝の体験記も、そのことを物語っています。

## 浄霊で糖尿病が改善 白内障も完治

台湾・屏東連絡所  
廖降嬌(71)



私は、姉の紹介で二〇一八年五月から屏東連絡所で浄霊をいただき始めました。

バした物が出て、少し刺すような痛みを感じるようになりました。二カ月後、目の再検査のため病院へ行きました。すると、右目の状態は改善され白内障は良くなり、手術の必要はないという結果でした。確かに浄霊をいただく前よりも物の見え方が変わり、見えやすくなりました。その後、病院の検査で肝臓と肺に問題があるとの通知が来ました。肝臓には二センチ大の影があり、もっと詳しく調べた方がいいとCT検査を勧められました。肺の病は三カ月間、薬を飲まなければならぬと言われましたが、薬はもう飲みたくないと思いましたが、検査には行かず浄霊をいただいでみることにしました。約半年後には入会したいと思ひ、姉と共に入会しました。それからは連絡所での浄霊と自分でも浄霊ができるようになったので、時間がある時は浄霊をいただくようになりました。その後、毎日下痢が出ましたが、下痢で体内の毒素が排泄されることを教わり、感謝するようになりました。

浄霊をいただく前は、遺伝的な糖尿病により服薬したり、両目とも白内障で、左目は手術をし、右目は手術が必要と医者から言われたりしていました。また、左耳は聞こえにくかったため、レーザー治療をする等、体には色々な問題がありました。目の保護のため目を薬を普段より使っておりましたが、使わない方が良くということを知り、初めは驚きましたが、試してみることにしました。それと同時に浄霊により体が良くなっていくことが分かり、連絡所には週三回行くようにしてみました。しばらくしますと目脂のようなネバネ

二〇二一年一月に敬老者健康診断があり血液検査を受けました。医者からは「敬老者健康診断の項目二十種全て問題がありません。血糖値と尿酸値が少し高いだけで正常です」と言われました。肝臓と肺の病も治っており何も言われることはなく、浄霊のおかげで体は改善されました。また下痢によって毒素が体外に排泄されたのだと思ひ、とてもうれしい気持ちになりました。浄霊は素晴らしい健康法であり、一人でも多くの人がこのありがたい方法で救われたらと思っております。

(台湾省屏東県)

# 失明と言われた緑内障 進行せず元気に

平城支部  
寺川昌代(86)



私の嫁ぎ先は、以前から新健康協会

の会員でしたので、私も結婚を機に入会し、浄霊をいただいて過ごしております。今回、筆を執ったのは、私が「緑内障」の診断を受けながらも、浄霊をいただいて、毎日をどのように過ごさせていただいたのかを皆様に知っていただきたいからです。

これは、平成二十八年二月のことです。私はそれまで使っていた老眼鏡が合わなくなり新調しようと思っておりましたので、近くの眼科で視力検査を受けることにしました。すると「緑内障」と診断され、大きな病院を紹介されました。その後、検査を受けると、「眼圧が上がりに、このままいくと目の中の血管が壊死して盲目になる」と言われ、二種類の目薬を処方されました。私は明主様のおっしゃる「薬毒」ということを知っていましたが、目が見えなくなるのは困る…と思いい、暫く目薬を使用していました。

それから約二年が経った平成三十年の一月、支部の先生が海外へ出張されることを知りました。ここは会員で

ある私も支部のお留守番をしつかりさせていたただかなければならないと思いい、今までの考え方を改めました。そして、平成三十年三月十四日から、一切の薬、治療を止めて、浄霊に専念することにしました。

その後、十月頃までは毎日支部に参拝して、浄霊をいただいていたのですが、夫(91)が茶瓶を火にかけたまま忘れるようなことが何度かあり、火の始末が出来なくなつたため、それから支部へ行くことが難しくなりました。そのため、自宅で娘三人から浄霊をいただき、自分でも浄霊をいただくようにしました。

令和二年三月からは、支部の方が毎日出張浄霊に来てくださいました。それから二週間程経つと、以前、目薬を使った時にあつた不快感がなくなり、目がすっきりしたように思いました。浄霊をしてくれる娘も「目薬を使っていた時より、今の方が目がきれいよ」と言ってくれました。

その後、よく寝汗が出て、冬の寒い時でも首回り、特に耳の下の部分によく汗が出るようになりました。寒い時でも体全体から汗が出る夜もありました。目の奥の方から、タマネギをむいた時のような痛みを感じることがありました。きつと浄化作用で体内の毒素を出していただいたのだと思います。

ある日、太陽がまぶしくて目を開けているのがつらいことがありました。すると、それが原因で転んでしまい、道路上で右目の上を強く打ち、右目付近の顔面は内出血で真っ黒になりました。しかし、浄霊のおかげ

で色は薄くなり、一週間ほどで良くなりました。間もなくしてまた転び、今度は左目付近の顔面を強く打ち、右目と同じように真っ黒な顔になりましたが、一週間ほどで良くなりました。骨折もなく済ませていただき、守つていただきました。

緑内障は血管が枯れると聞きますが、浄霊を続けていたことで湿っぽくなり、今まで詰まっていた血管が通つていくような感覚を覚えるようになりました。こうした色々な体の変化をいただき、目の違和感がなくなりました。目そのものがスッキリと生き生きして来たように思います。

最近でも体全体が重く感じたり、横腹が痛くなつたり、両足が吊つたりということもありますが、毎日浄霊をいただいているおかげで元気に働いています(一〇〇坪程の家庭菜園もしています)。また、買い物にも不自由せずに行くことが出来、食事もおいしくいただけれています。一日として寝付くことなく毎日を過ごせる幸せに、心の底から明主様に感謝しております。私は、この年齢まで目を使わせていただいているので、目を完全に良くして欲しい、などという考えはありませんが、生きていく間は自分のことが出来、人のお役に立ちたいという念願があります。

私は毎日支部へお参りさせていただき、一人でも多くの方に浄霊をすることが私の望みです。明主様、何卒よろしくお願い申し上げます。衷心より深く感謝申し上げます。(奈良県奈良市)

# 手首に刺さったガラス傷 浄霊できれいに

鹿島支部 C・I(33)

私の息子は現在八歳になりますが、今までに二度、遊んでいる時にガラス戸を割ってケガをしました。

三歳の時、左の手首にガラスの破片(長さ四センチ、幅一センチ)が刺さり、多量の出血がありました。傷口に巻いていたタオルは血で真っ赤になっていきましたが、浄霊をいただくことで徐々に出血は治まり、二時間程で完全に止まりました。その上、息子はぐっすりと眠っていました。眠っている息子の手首を見ると、数時間前まで開いていたはずの傷口に、ピンク色の肉が盛り上がっており、もうここまで良くなっている…と大変驚きました。短時間でこんな大きな変化を見せていただけるとは、本当に感激でした。とても素晴らしい大きな御守護をいただきました。

四歳の時は、右の手首近くにガラスの破片が刺さり、この時も多量の出血が続きましたが、浄霊をいただくことで出血も止まりました。ただ、小さな破片が傷口から入り込んでしまい、抜くことも出来なかったのですが、息子は落ち着いていて、痛がることもありませんでした。

するとそれから三年後、右の手首の傷口から十センチ程下のところが、だんだんと青黒くなってきました。気にはなりつつも、息子が痛がることもなかったため、普段通りに過ごし、浄霊をしていました。それから更に数カ

月経った頃、青黒くなつていたところが少しずつ盛り上がり、次第に化膿し始めました。徐々にしこりが柔らかくなり、あまり痛むことなく膿と一緒に一ミリ程のキラキラ光るガラスの破片が二、三日かけていくつも出てきました。その中でも、角が尖つた破片(長さ一・四センチ、幅三ミリ程)が刺さつたままの状態が続いていたので、明主様をお願いし、そつと引き抜きました。すると破片はわずかな膿と共にきれいに取れました。息子は痛がることもなく、泣きもしませんでした。その後、浄霊をいただくことで、開いた穴は塞がりはじめ、息子はいつものように遊び回っていました。

翌日、支部に行き、この度の感謝の報告をさせていただきました。改めて、息子を通して浄霊の素晴らしさを感じさせていただきました。今では、傷口もわからないくらいきれいになっております。

明主様、誠に有難うございました。(佐賀県鹿島市)

## 浄化作用ってどういうこと?

人間には体内の毒素を排除して健康を促進しようとする働きがあります。例えば、カゼの場合、蓄積してきた不純物や体外から入ってきた毒素を浄化するために熱や痛みが出ます。そして、その結果ハナやタンなどが体の中が掃除され、霊・体共に清浄化されます。その毒素排除の過程を浄化作用と言います。ですから浄化作用は、体の不調和を調和させる大切な清掃作用でもあるのです。

### 手術と言われたヘルニア 浄霊で奇跡の体験

荒尾支部 吉田和子(67)

私の夫(未会員69)は二十六歳の時、ヘルニアで三カ月間入院をしていましたが、それまでも何度かヘルニアで入院を繰り返していました。今度病院に行った時には、もう手術をするしかないと言われていました。

そんな時、夫が車で仕事から帰ってきたのですが、車が停まっても降りて来ませんでした。私は気になって車まで見に行ってみると、夫は腰が痛くなつて、その場から動けずいました。

その日は土曜日で病院がお休みでしたが、どうしようかなと思っていた時、以前ポストに健康新聞が入っていたことを思い出し、早速、近くの支部へ電話をしました。すると、支部は家から近いところがあったため、行ってみることにしました。

支部に着いても、夫は車から降りて歩くことが出来なかつたので、私が脇を抱えながら、車から降ろしました。支部の先生も出て来られ、二人で夫を支えながら、なんとか支部の中まで連れて行くことが出来ました。

夫が浄霊をいただいているのを、私は傍で見えていましたが、浄霊をいただいている途中から、痛みで曲がっていた背中が徐々に真っ直ぐになっていき、私に驚かされました。夫が支部の先生に話を聞いてもらっているのだからと思っていました。しかし、後で聞いてみ

ると本当に痛みがなくなり、自然に真っ直ぐ伸びたということでした。

帰る頃には、行きとは打って変わって、普通に一人で歩いて帰ることができるようになっていました。

そして、それから約二カ月の間、夫はほぼ毎日支部に行き、浄霊をいただきました。おかげ様でヘルニアは良くなり、病院に行く必要もなくなりました。しかし、私たちはそれきり、支部に行かなくなっていました。

それから約二十年後、私が車を運転している時に、普段は通らない道を通ったら、たまたま、この協会の支部の看板を見つけました。以前、支部があった場所とは違う所だったので、こちらに引越されたんだと思いました。

それからしばらくして、私は急に立てなくなってしまうことがありました。原因も分からず、病院にも行きましたが、良くなりませんでした。その時に、浄霊のことを思い出して、車で通りがかった時に見つけていた支部へ行って浄霊をいただきました。

すると、浄霊を続けるうちに段々と立てるようになり、歩けるようになり、歩きました。その後、私はこのことがきっかけで、協会の会員になりました。夫は未会員ですが、「浄霊を頂くと、体が疲れていても必ず元気になって仕事ができる」と言って感謝しています。

私も、足の痛み等がありながらも、仕事もでき、日々、何事もなく過ごしております。

明主様、御守護賜りまして誠に有難うございます。

(熊本県玉名市)

### 湿疹・鼻炎良くなり 大事故からも救われる

A (40代女性)

私の息子(十八歳)は、生まれた時から顔や体にたくさん湿疹が出て、小学校四年生まで耳の後ろから首にかけて、また腕や足の関節から湿疹がた

くさん出ていました。それと同時に濃い鼻水も十六歳まで毎日出ていましたので、心配な気持ちにもなりました。きつと明主様が困らないようにして下さると信じ、浄霊をしておりました。おかげ様で、学校でも鼻水や湿疹が出ていましたが、周りからいじめられることもありませんでした。また、

息子はいつも鼻が詰まっているにもかかわらず、走っても全く息苦しさを感

じることはないと言っており、私は不思議だなあと感じておりました。

おかげ様で、小学校の六年間はスポーツ少年団でサッカーをして、スポーツ推薦で私立の中学校に入り、陸上部で中距離を走るようになり、中高一貫校で高校へ進んでからも同じく陸上部に入り、自分の好きなことを頑張つて取り組むことができました。このよ

うな息子の姿を見て、浄霊で霊体を浄めていただくと八方塞がりにならないようにしていただけたらと思いま

した。そして、高校一年生の終わり頃より鼻水が出なくなつたと同時に成績がぐんと上がりました。最初は本当に驚きました。また陸上でも、一五〇〇メートル走や三〇〇〇メートル障害物競

走などの中距離の全ての種目に出場することができ、部活動の監督から「長年指導してきた中で、全ての種目に出場したのは、お宅の息子さんが初めてだ」とも言っていたいただきました。

最近では、コロナウイルスの影響による就職難にもかかわらず、大手自動車会社からの内定もいただき、今年四月に無事入社しました。

鼻水や湿疹は体の中の汚いものを出す働きで、頭の中の濃い毒素をたくさん出していただくことで記憶力もとても良くなるかと教えていただいております。また体から汚いものが出た分だけ運

が良くなるかと教えていただいております。また体から汚いものが出た分だけ運

の通りだと思えました。

昨年末には先輩の運転する車に同乗し、命を落としてもおかしくない事故に遭つたにもかかわらず、同乗していた四人全員が命に別状がなく済ませていただくという奇跡をいただきました。

その日、軽自動車でカーブの多い山道を走っている時、スピードが出たまま左カーブに進入したため、勢い余つて対向車線に横回転しながら飛び出したそうです。車の全ての窓ガラスが割れ、最終的には車の右側面を地面に擦り付けながら停止したそうです。車も廃車になるような事故でしたが、息子以外の三人は無傷で、右後部座席にいた息子も車が止まった時に頭と右腕が外に出ていたにもかかわらず右肘の擦り傷だけで済みました。警察からは「腕が取れて、頭に大けがを負って死んでいてもおかしくない状態だった」と言われたそうです。また、車が止ま

った少し先は崖だったそうで帰って来た息子からこのような話を聞かされ、背筋が凍るような思いと同時に、明主様に守っていただいたと思ひ、心より感謝申し上げます。

明主様、誠に有難うございました。

## 新健康協会とは

病気・貧困・争いのない世界、人類の幸福を最大の目標とし、心身の健康と霊性の向上を目指した「浄霊法」と「自然農法」を実施。また「美術・芸術」による魂の向上に努めています。

本教の教祖『明主様』は昭和の初めより、幸福の原動力となる「浄霊」を確立され、特に病気や色々な悩みで苦しむ多くの人を癒し、幸福へと導かれました。

浄霊入門 ⑬

(浄霊を体験したフランス人のつぶやき)

浄霊は比較できないものである。

浄霊は自然治癒をするエネルギーであり、霊的に目覚めるためのモノでもある。つまり、幸福に達するための方法であるが、まだまだ知られていない方法である。

ここには、明主様の御教えがたくさんあるのだが、今回は「毒素」や「曇り」を紹介しよう。

人間は生涯、肉体そして霊体の両方に不純物を蓄積していき、またあらゆる不純物をご先祖様からも受け継いでいると、明主様は説明している。

この不純物というのは、一般でも知られている「毒素」によく似ている。その「毒素」は臓器から血液に排出され、腎臓によってその血液を濾して

「毒素」を取り除き、排尿の時に体から出ていく。この不純物が霊的だと、「毒素」ではなく「霊の曇り」というのだ。

つまり、「毒素」も「霊の曇り」も同じことを指している。この不純物は多かれ少なかれ、非物質的ではあるかもしれないが

しっかり存在はしている。この不純物の生成は自然にあらわれるため、避けることもできない。

しかも、ご先祖様から受け継ぐ不純物の他、人は悪い考え、悪い言葉、悪い行動をすることによって自分自身で不純物を生み出す。

「毒素」の中には、「食べられるものの毒素」と

「食べられないものの毒素」とがある。「食べられるものの毒素」の例として、ジャガイモをあげよう。ジャガイモは食べられるが、ジャガイモの芽や緑色になった部分にはソラニンや

カニンが多く含まれているため、その毒が、毒素のもととなってしまふ。「食べられないものの毒素」として人が摂取しているものがある。それは、

大気汚染や水質汚染からくるもの、あらゆる農薬、そして薬…

これらの「毒素」はすぐに排出することができない上に、逆に体内で固まっ

美の世界

明主様は、「美」による「心の浄化」を説かれました。世界の人々が美を楽しむ時、それは文化の進歩にも貢献する事となり人間性の向上にもつながり、天国世界が出現することにもなると教示されました。

福田平八郎 《花菖蒲》

「われわれ画家は、感性を成長させることを心掛けなければならぬし、また、その成長した感性で写生した素材を制作の基礎にしなければならぬと思う。私は同じ花を、毎年必ず写生するように心掛け、それを主題にして制作する時は、その何年間もの写生を、一通り並べて吟味して見る、そして、一番新しい写生を基礎にして制作することにして居る」

これは、大分生まれの日本画家、福田平八郎の言葉です。この言葉の通り、福田は同じモチーフを生涯にわたって描き続けていることが、彼の発表作品においても、残されている大量の写生帖からも分かっています。中でも「花菖蒲」は特に繰り返し描かれたものの一つ。「花のようなもの、一年に一度しか咲かないから、これを写生しそこなうと、来年まで自分の感性を確かめることができないので私は、好きな花が咲け

ば、どんな無理をしても、写生することにして居る」とも語っているの

で、菖蒲は福田が楽しみにしていた花だということも分かります。

一九三四（昭和九）年の第十五回帝展出品作以降、さまざまなスタイルの花菖蒲が発表されており、構図、色彩、形の抽出の仕方における

変化の様子には表現方法を探索している姿勢がみてとれます。本作は落款印こそありますが、素描に近い軽やかな描写で、対象を見つめて写し出した生の状態から、それを整え感

覚を統合して仕上げる過程にあるようです。輪郭線で形をシンプルにとりつつ、色のグラデーションで花弁の奥行きが表されていて、昭和十年

代よりは後のものだと思われれます。福田は一九一〇（明治四十三）

年大分中学校在学中に絵画を志して京都に上り、京都市立絵画専門学校を卒業した後も京都を拠点に活動しました。卒業旅行で訪れた島原で、

羊の大群に感激して夢中で写生したものを元に大作《緬羊》を描いたエピソードや、

一九二一（大正十）年には一時大分に戻っており、その年の第三回帝展に出品した《鯉》が特選を受けて注

目されることになるなど、故郷・九州での写生が飛躍のきっかけなのかもしれないと想像してしまうのは九州人の臆眉目でしょうか。いずれにせよ身近な自然を丁寧に写すことが彼の画業を支えていたことは間違いありません。

解説 松田愛子



晴明会館

「背景に九州」前期展

期間：6月1日（火）～12月11日（土）

※晴明会館お問い合わせ ☎(092) 661-1535

健康新聞についてのお問い合わせは (092) 661-1531まで